

学校や市有施設の耐震化を急げ



寺田 元子 議員
てらだ もとこ

問 市長はこれまで、新庁舎建設に先んじて学校施設の耐震化に取り組みと答弁してきたが、学校耐震化は遅れている。東

問 東日本大震災の被災地は学校の耐震化は完了しているため、学校倒壊による子ども犠牲はなかったことが教訓だ。国はすべての学校の耐震化を5年以内に完了するよう補助率のかき上げを延長し、県も5年間で耐震

問 白紙撤回を求める1万4785筆の請願を市長はどう受け止めているか。計画を撤回する考えはないか、堂々と市民と対話すべきではないか。耐震補強の調査をして、必要最小限の経費で対応すべきではないか。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 市長はこれまで、新庁舎建設に先んじて学校施設の耐震化に取り組みと答弁してきたが、学校耐震化は遅れている。東

問 東日本大震災の被災地は学校の耐震化は完了しているため、学校倒壊による子ども犠牲はなかったことが教訓だ。国はすべての学校の耐震化を5年以内に完了するよう補助率のかき上げを延長し、県も5年間で耐震

問 白紙撤回を求める1万4785筆の請願を市長はどう受け止めているか。計画を撤回する考えはないか、堂々と市民と対話すべきではないか。耐震補強の調査をして、必要最小限の経費で対応すべきではないか。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。



耐震補強中の三原小

問 市長は子どもたちの安全を脇に置いて市庁舎建設が先なのか問う。

問 市民への説明等は十分だったと思う。7月以降説明会を開催し、説明責任を果たしていく。耐震改修は5億4千万円必要との試算があり、耐震化改修を行っても建物自体の耐用年数は延びない。

問 現在国や県において地震、津波、原子力災害について見直しが進められている。本市も支援活動などから住民避難、支援受け入れ、復興等、行政だけでは対応のできない課題が生じている。本市特有の地形として、市街地周辺地域には低い土地が多い。防災会議の中に地域防災計画検討部会を設置し、国・県の見直しを踏まえ積極的に取り組んでいく。

問 海面、内水面（河川）漁業における振興について、海面漁業における漁獲量、販路、後継者等、内水面漁業における鮎漁の名産、特産化、及び振興について、また、道の駅参入について問う。

問 海面、内水面（河川）漁業における振興について、海面漁業における漁獲量、販路、後継者等、内水面漁業における鮎漁の名産、特産化、及び振興について、また、道の駅参入について問う。

安心・安全なまちづくりについて



七川 義明 議員
しちかわ よしあき

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

問 東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災者の方々に謹んでお見舞いを申し上げます。



沼田川の鮎（アユ）漁

「被災者支援システム」の導入を



たにくち かずこ
谷口佳寿子 議員

問 東日本大震災の被災自治体において、大いに役立っているシステムがある。これは、阪神・淡路大震災の時に、兵庫県西宮市の職員が必要に迫られて開発・稼動させたシステムで、「住民基本台帳」「家屋台帳」「被災状況」等のデータベースを一括管理することにより、証明書等の発行の迅速化を図るものである。

本来別々に存在しているデータの確認・照合には多大な時間を要していたが、このシステムにより7時間程度かかっていた証明書発行が1時間程度にまで短縮され、また各種申請等の簡略化にも有効となっている。

本市でも同システムを導入し、災害時に備えるべきと考えるがどうか。

答 同システムは、被災者支援・避難所関連・緊急物資管理・仮設住宅管

理・犠牲者遺族管理・復旧復興関連・倒壊家屋管理の各システムで構成され、罹災証明書の発行など、被災者支援や復旧復興業務に大きな力を発揮したと聞いている。

災害発生時に即時対応するためには、平時からデータ類を準備しておく必要がある、本市でも災害時に活用できるように導入を検討していく。

スーパークールビズへの対応は

問 職員の夏季軽装の規定が示されているが、従来のクールビズの範囲内での規定となっている。

震災後の状況を受け、一段と進化した対応を望みたい。市民啓発の面からも、可能な限り環境省の方針に沿うよう考えてはどうか。

答 地球温暖化防止・省

エネ・職員の健康保持の観点から、毎年夏季軽装（クールビズ）、及び節電対策に取り組んでいる。

本年は特に大震災に伴う夏場の電力不足への懸念から、職員はエレベーターの使用を控えること、午後6時には庁舎を一齐消灯し、必要箇所のみ再点灯するなど、節電を徹底している。

クールビズ期間も5月23日から10月末まで1ヵ月延長。服装については一般的なワイシャツ・ブラウス等とし、ポロシャツ等は不可としている。

職員の仕事への緊張感を保つこと、また日常的に市民への窓口対応等の業務を行うことから、一定の節度が必要と考えている。



野間川ダムに伴う久井簡易水道事業計画について



まつうら よしかず
松浦良一 議員

問 野間川ダムに伴う久井町簡易水道事業計画について聞く。

①平成23年度の事業内容は。

②25年度以降の浄水場建設と江木配水区等への配水管計画はどのようにするのか。

答 久井町簡易水道事業の水源となる野間川ダム建設工事について、22年度よりダム本体工事に着手している。今年度も継続して本体工事を行い24年度末の完成をめざしている。

ダム建設に並行して、今年度より江木配水区の一部にあたる久井中学校入り口付近の県道上徳良久井線から市道久井町下津45号線に、耐震管で口径200mmの配水管を布設するため実施設計業務を1400m、5月23日請負契約を締結し、8月31日完了の予定。野間川

大和、沼北ブロックの3地域は、地域住民、保護者の理解のもと統合に向けた具体的な準備、協議を進めるための学校統合準備協議会を立ち上げ、作業に取りかかっている。

他の2地域は現時点では具体的な協議に入るまでの状況に至っていない。

②久井・八幡ブロックは現久井中学校の敷地内に統合小学校新設の設計業務の入札を7月に行う予定。大和ブロックは、現大和中学校エリアに統合小学校を整備する方針で

大和高校の活用も含め検討しており、方針が固まり次第、校舎改修等の設計業務を発注予定。沼北ブロックは現小坂小の改修設計業務発注をする予定。

③25年4月開校をめざして、引き続き新しい学校づくりの校名や通学方法など諸準備を進めていく。

学校適正配置計画の進捗状況を聞く

問 学校適正配置計画の進捗状況はどのようになっているのか。

①第一期実施計画策定方針の進捗状況について。

②実施計画の具体的な5統合校について。

③25年4月開校はできるのか。

答 ①三原市立小中学校適正配置第一期実施計画は、市内5ブロック16校の小中学校を統合する計画である。現在久井・八幡

